

サビエル生誕五百年



巡礼の道

32

藤屋 侃士
(下松市幸ヶ丘)

二千年の都・レオン

サンティアゴ巡礼のフランス・ルート中継地でブルゴスと並ぶ大きな都市、レオン。この町の歴史は何と二千年と言われる。

一世紀にローマ軍がリベリア半島に侵攻した際、ローマ軍団(レギオン)がキャンプ地としたのがレオンで、その名は「レギオン」

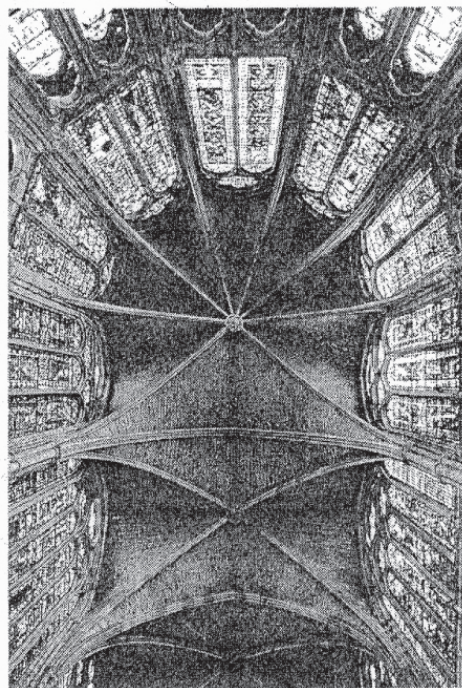
に由来する。
「悪魔つきレギオン」
「レギオン」は聖書の中にも人名として出てくる。ルカ福音書八章の「悪魔つきレギオン」の話である。イエスは悪魔つきの

当時、パレスチナ地方もリベリア半島と同じようにローマの支配下にあり、ユダヤ人たちはその圧政に苦しめられていた。
憎いローマ軍に力では及ばない。腹いせに悪魔つきの男の名前をレギオン(ローマ軍団)とつけたのだろう。つまり悪魔の群れがローマ軍団だということである。

ユダヤ教徒は豚肉を食べない。その忌み嫌う豚に悪魔が入れられ全滅するというローマ軍団への痛烈な風刺でもあるという。
「レギオン」というたつた一言の中に二千年前の歴史が内包されているのだから、聖書は知れば知るほど奥深いのである。

「レギオン」という共同訳の聖書は「レギオン」という男の名前と訳されているが、ドン・ボスコ社の聖書は「軍団」という名前の男と訳されており、後者の方が歴史をくみ取りやすい。

「レギオン」という共同訳の聖書は「レギオン」という男の名前と訳されているが、ドン・ボスコ社の聖書は「軍団」という名前の男と訳されており、後者の方が歴史をくみ取りやすい。



レオン大聖堂の天井近くのステンドグラス

見上げていると首が痛くなった

レギオンという名の男から悪魔を追い出し、悪魔を豚の中に入れて豚の群れはがけから湖に落ちて死に、男は正常に戻ったという話である。

「レギオン」という共同訳の聖書は「レギオン」という男の名前と訳されているが、ドン・ボスコ社の聖書は「軍団」という名前の男と訳されており、後者の方が歴史をくみ取りやすい。

「レギオン」という共同訳の聖書は「レギオン」という男の名前と訳されているが、ドン・ボスコ社の聖書は「軍団」という名前の男と訳されており、後者の方が歴史をくみ取りやすい。

「レギオン」という共同訳の聖書は「レギオン」という男の名前と訳されているが、ドン・ボスコ社の聖書は「軍団」という名前の男と訳されており、後者の方が歴史をくみ取りやすい。

「レギオン」という共同訳の聖書は「レギオン」という男の名前と訳されているが、ドン・ボスコ社の聖書は「軍団」という名前の男と訳されており、後者の方が歴史をくみ取りやすい。



スペイン三大聖堂の一つ、レオン大聖堂